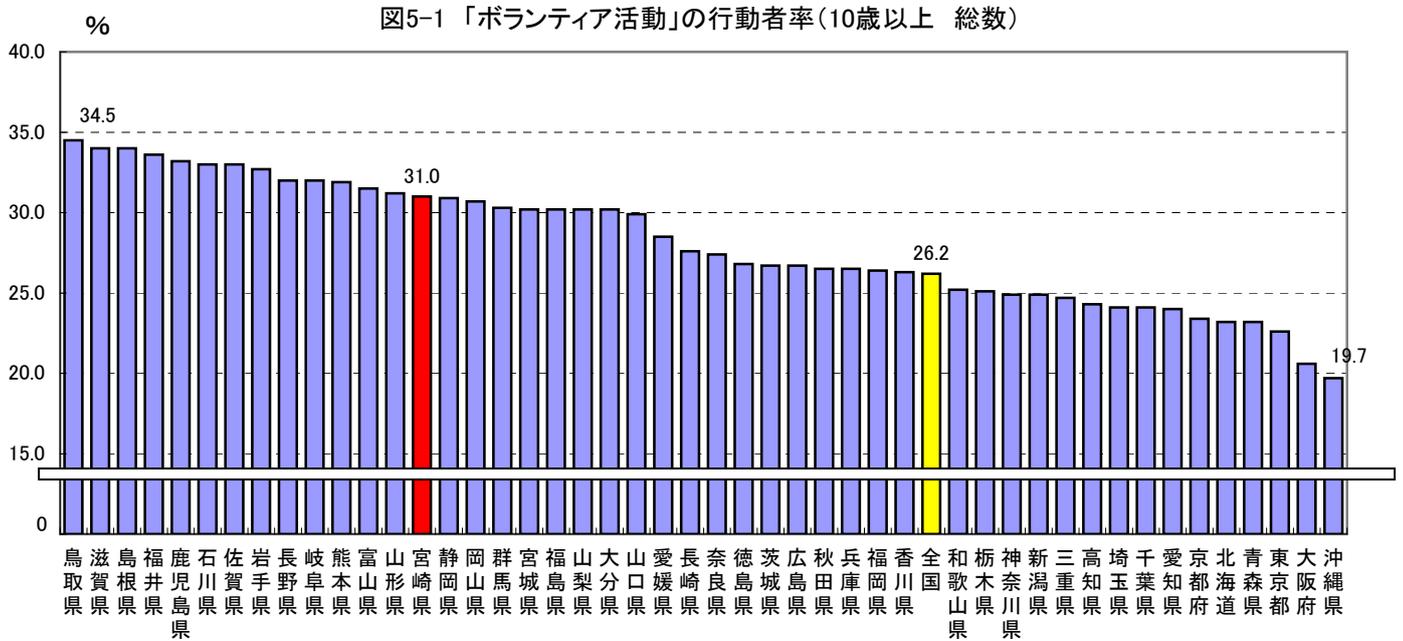


5 ボランティア活動

～1年間に「ボランティア活動」を行った人は約31万2千人で、行動者率は31.0%～

本県の10歳以上で過去1年間に「ボランティア活動」を行った人は約31万2千人で、行動者率は31.0%となっています。これは全国平均の26.2%に比べ4.8ポイント高く、全国順位で見ると第14位となっています。

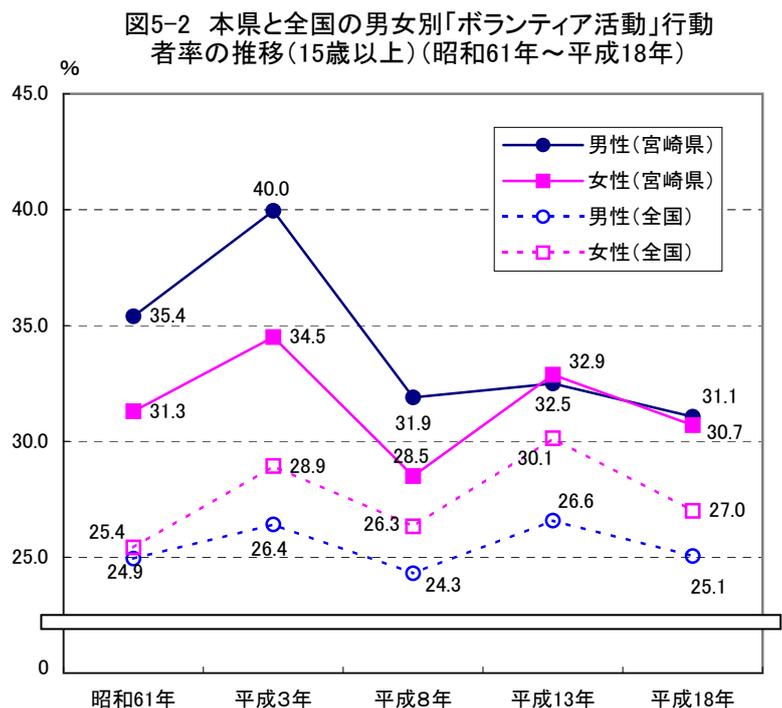
これを男女別にみると、男性は約14万6千人で行動者率は31.1%、女性は約16万6千人で行動者率は30.9%となっています。（図5-1）



～20年間に男女の行動者率の差が縮小～

本県の「ボランティア活動」の行動者率（15歳以上）の推移を男女別にみると、女性は昭和61年とほぼ同水準ですが、男性は4.3ポイント低下しています。また、男女間の格差は、平成3年に最大5.5ポイントありましたが、その後縮小し、平成13年では女性が男性を上回りました。なお、平成18年は再び男性が上回っているものの、男性が31.1%、女性が30.7%とその差はごくわずかとなっています。

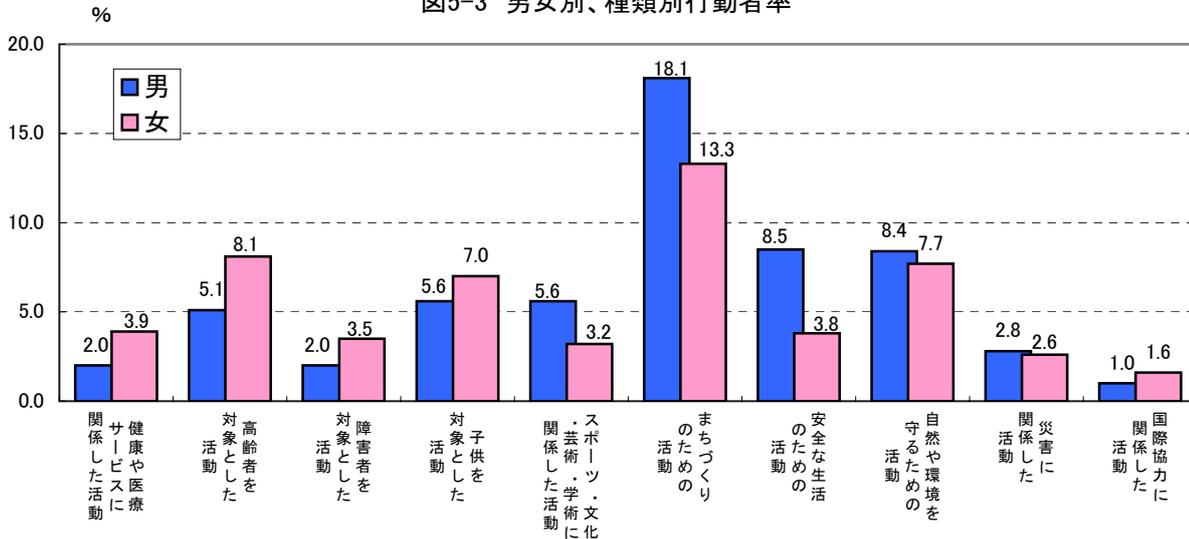
また、本県と全国を比較してみると、全国は、男女とも行動者率が昭和61年と比べさほど変わっていません。また、全国は、本県と異なり、常に女性の行動者率が男性を上回っています。（図5-2）



～最も高い行動者率は男女とも「まちづくりのための活動」～

「ボランティア活動」の種類別に行動者率をみると、男女とも最も高いのが「まちづくりのための活動」で、男性が18.1%、女性が13.3%となっています。以下、男性は「安全な生活のための活動」（8.5%）、「自然や環境を守るための活動」（8.4%）の順で、女性は「高齢者を対象とした活動」（8.1%）、「自然や環境を守るための活動」（7.7%）の順となっています。（図5-3）

図5-3 男女別、種類別行動者率

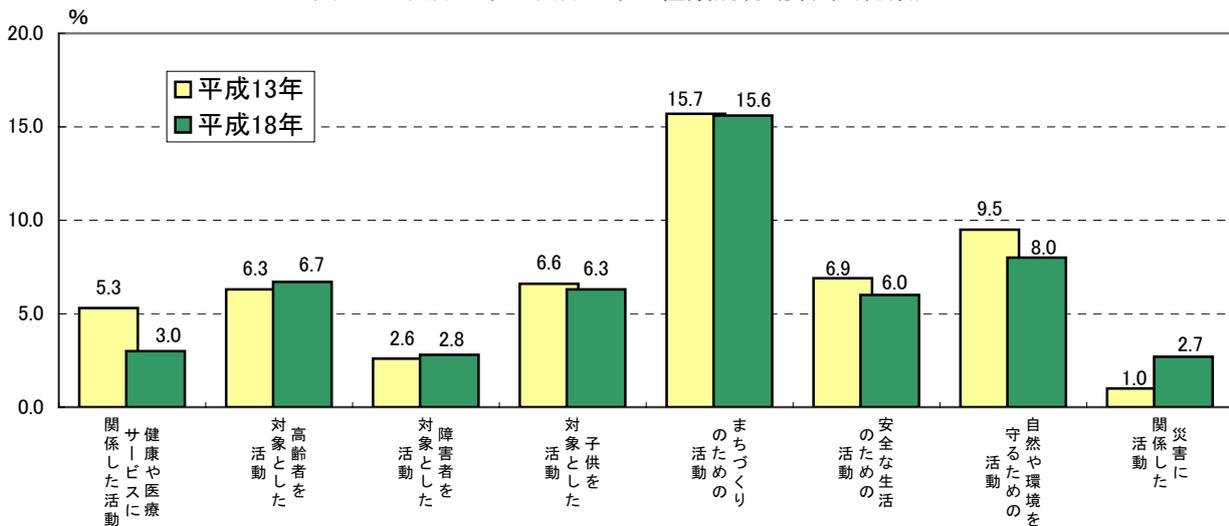


～平成13年と比べ「災害に関係した活動」が上昇～

比較が可能な表章について平成13年と比べると、「健康や医療サービスに関係した活動」が2.3ポイント、「自然や環境を守るための活動」が1.5ポイントそれぞれ低下しており、「災害に関係した活動」が1.7ポイント上昇しています。

なお、それ以外については、平成13年と比べて大きな変化はありません。（図5-4）

図5-4 平成13年と平成18年の種類別行動者率(総数)

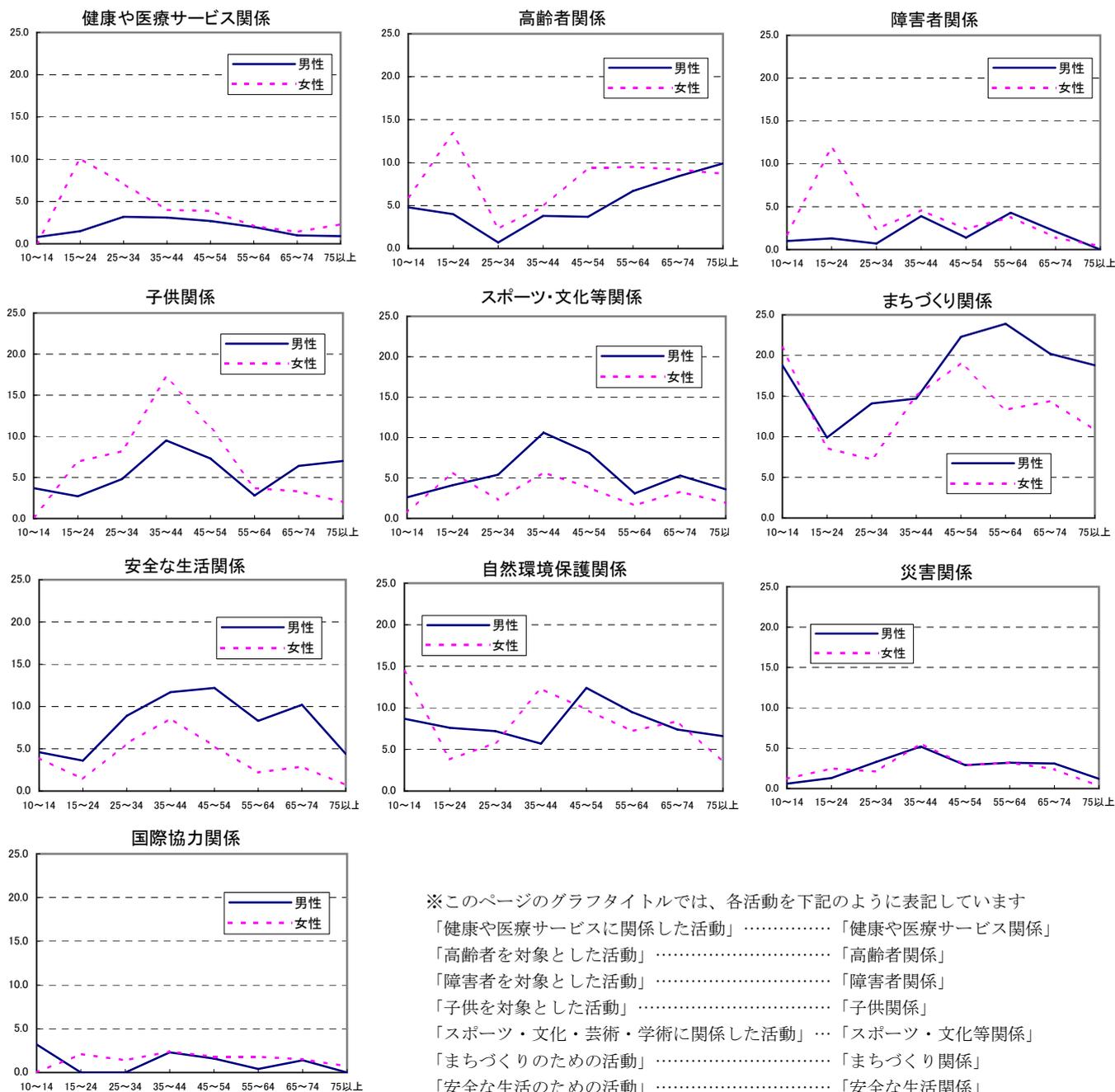


～高齢者で高い「高齢者を対象とした活動」の行動者率～

「ボランティア活動」の行動者率を種類別にみると、男性は、「スポーツ・文化・芸術・学術に関連した活動」、「まちづくりのための活動」、「安全な生活のための活動」がほとんどの年齢階級で女性を上回っており、さらに「まちづくりのための活動」及び「安全な生活のための活動」は、若い世代よりも中高年層が高くなっています。一方、女性は、「健康や医療サービスに関連した活動」、「高齢者を対象とした活動」、「障害者を対象とした活動」などで15～24歳の年齢階級で行動者率が高くなっています。

また、「高齢者を対象とした活動」において、男女とも中高年層の行動者率が他の年齢階級よりも比較的高くなっています。（図5-5）

図5-5 種類別、男女別、年齢階級別行動者率(%)



※このページのグラフタイトルでは、各活動を下記のように表記しています

- 「健康や医療サービスに関連した活動」……………「健康や医療サービス関係」
- 「高齢者を対象とした活動」……………「高齢者関係」
- 「障害者を対象とした活動」……………「障害者関係」
- 「子供を対象とした活動」……………「子供関係」
- 「スポーツ・文化・芸術・学術に関連した活動」…「スポーツ・文化等関係」
- 「まちづくりのための活動」……………「まちづくり関係」
- 「安全な生活のための活動」……………「安全な生活関係」
- 「自然や環境を守るための活動」……………「自然環境保護関係」
- 「災害に関連した活動」……………「災害関係」
- 「国際協力に関連した活動」……………「国際協力関係」